

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

そだちネットワーク部会 第4回

開催日時 2023年11月27日(月)

15:30~17:00

参加者所属機関名等 飯山養護学校・北信保健福祉事務所・中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村・飯山学園・未来工房つむぎ・ぱーむぼいす・事務局（北信圏域障害者総合相談支援センター）

本日のテーマ、課題等

(1) 全体共有 (2) 各WG活動

会議内容

(1) 全体共有

① 第3回飯山養護学校特別支援教育連携協議会の報告：

11月13日 テーマ「ともに考える支援者を目指して～将来を見据えて、今、私たちができること～」特別支援教育課 今井友陸先生を講師にお招きし、「将来を見据えて今つきたい力～自立活動の指導とは～」という演題で講話をしていただき、5名の先生方より、自立活動の実践例の紹介があった。

② 発達障がい診療関係者研修会の報告：

11月24日 「ゲーム障害と発達障がい」 佐久間 寛之 氏

③ 自立支援協議会からの報告

- ・第2回 自立支援協議会総会（詳細については自立支援協議会総会 ホームページ参照）
上半期部会活動及び障害福祉計画についての報告
「身寄り問題」についてグループワーク
- ・重心・医ケア部会 親の会「ほくしん・といろの会」 10月16日開催
6家族と1名のお子さんが参加。
今後、出された意見や開催の様子をまとめたものを関係機関に共有していく予定。
- ・雇用支援ネットワーク部会
就労継続支援B型事業の利用希望者に対するアセスメントについて。上半期は7名実施。

④ 発達障害支援フォーラム委員会

支援者向けの研修会を企画している。

今後、各領域（福・行・医・教）の発表者に依頼して動画撮影を行う。

(2) 各ワーキンググループ活動

1G 子どもの支援ワーキング

「日なたの取り組み」事例発表を、ばーむぼいす清水氏にいただいた。

以下について話し合った。

- ・保護者支援：先の見通しがもてず不安が強い→よく話し、願いを聞く。
- ・学校のアプローチ：要望などを言ってもらったら変わる学校であるべき。中野市子ども課との連携。
- ・コーディネーターとのつながり：学校のなかでもしっかり理解しネットワークで動けることの良さ
- ・昼間の居場所がないという問題。
- ・学校へ、コーディネーターへ、職場実習へ、スムーズにつながっていたことが成果になる。

本人のアプローチ、その子の支えになるまでにどういう配慮が必要か。

安心・信頼、やりたいことができる場所。

2G 家族の支援ワーキング

子どもに関連した補助制度を、必要としている家庭へ届けるための工夫

市町村ごとの制度一覧表の活用について。

すでに、冊子などの家庭に渡せるものがあるにもかかわらず、案内が漏れてしまったという反省点から、今回は支援者のスキルアップのため、資料を作成した。今回作成した資料は公表などせず、市町村の中で活用する内部資料にとどめる。

〈次回〉

福祉制度を案内するにあたり、必要性やタイミングなどの判断を迷ったケースや、うまくつながったケースなど、各市町村1例ずつ持ち寄り、事例検討を行う。

3G ネットワーク充実ワーキング

- ・児童生徒に関わる情報共有について：支援会議で共有する内容（学校・生活・事業所の様子）だけでなく、発達段階における必要な力にも着目した会議を意識したい。項目があるとよい。
- ・放課後等デイサービスにおいては、実態把握や調査を検討する。
卒業を目指せる支援も必要。本人家族、支援者で目標を共有していく。
- ・児童クラブは安心安全以上のスキルを求められても困るという意見がある。
→特性や配慮が必要な子どもも利用できる体制づくりが必要（インクルーシブ）。
- ・特別支援学校の空き教室を放デイとして使えたり、地域の子供たちも使えるような場になるといい。
- ・サービス向上部会のキッズネットから検討してほしいことをもう少し具体的に聞けると検討しやすい。

次回

第5回 令和6年1月29日（月） 15：30～17：00 飯山市木島地区活性化センター